

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1090200435		
法人名	株式会社プランドゥ		
事業所名	グループホームようざん倉賀野		
所在地	群馬県高崎市倉賀野町2191-1		
自己評価作成日	令和7年1月20	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	サービス評価センターはあとらんど		
所在地	群馬県高崎市八千代町三丁目9番8号		
訪問調査日	令和7年3月5日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・「主権在客」の精神に基づいて安全あつての安心、そしてご家族と共により多くの「笑顔」をめざしていきます。・事業理念は「あなたの喜びを共有させてください。」この理念で主役は利用者様。私たちは利用者様が喜ぶ姿が幸せ。と考えています。
・職員一人一人が介護のプロとしての自覚をもち、日々変化のある利用者様に対してその都度その都度、心身ともに最適なケアに取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

2月から管理者が代わり、隣接する施設と兼務するという、事業所内の異動の情報を明らかにしたり、毎月末に利用者の様子をお知らせする写真を送付する等、事業所に内部情報や利用者の現状を公開する姿勢があり、家族との信頼関係を築く礎になっていることがわかった。家族からは「何でも話してくれる」「いつも笑顔で迎えてくれる」といった声があり、良好な関係性がうかがえた。また、コロナ禍より外に行けない状況が続いているが、その中でも利用者に付き添って近くのスーパーに買い物に行ったり、通院の機会に食事をする等、利用者本位の喜びにつながる支援に取り組んでいる様子が見えがえた。

Ⅴ. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない			○	4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念は「主権在客」があり事業所理念は「あなたの喜びを共有させてください。」を掲げ個別援助を行っている。	事業所の理念に沿って、アセスメントにある利用者の好きなこと、してきたこと等を含む意向を達成し、喜びにつながるよう、介護計画に反映させ、画一的ではない個別ケアに取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩などで地域の方がいたらあいさつをする。2ヶ月ごとに地域の方が廃品回収が来てくれ交流している。	当該地域は行政も地域との関りを重視しており、4月からオレンジカフェを再開する予定になっている。地域の祭りや地域作り活動協議会に参加したり、来年度は協議体への参加も要請されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	見学やご家族様などの相談に応じており運営推進や法人での事例発表などしています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナも5類になり今年から2ヶ月に1度、定期的に開催しています。評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスに活かしています。	隔月で小規模多機能施設と合同で区長、民生委員、市、あんしんセンターが出席し開催している。家族の出席がない。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議で地域の方と連携をしている。	管理者が事故報告等を行い、連携を図っている。他に介護保険の更新代行、認定調査の立会いをしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が理解しケアに取り組んでいます。拘束が必要な時は家族の了解。切迫性・非代替性・一時性がある場合行うことがあるが、過去になし。施錠しないことを目指しているが、徘徊や帰宅願望などがある場合は、安全確保の為施錠する場合があります。	玄関と内側の引き戸は施錠しているが、外を見ている利用者には声をかけ、一緒に外に出て、事業所周辺を回って来ることもある。3か月ごとに身体拘束適正化委員会をグループ内で開いている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な身体拘束適正化委員会の開催の他に困った事があれば、全員で共有し解決をめざしています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に重要事項の説明やホームの環境などを知って頂き不安や疑問等についてお答えしています。途中での改定があった場合にはその都度充分な説明をし、理解を促しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情や相談の窓口を設置しており、不満や苦情に対応しています。	来訪時の家族から、「骨折し、一時的に車椅子使用になっても、なるべく歩くようにしてほしい」といった要望があった。また、利用者から食べたい物を聞き、家族にLINEで伝え返事をもらっている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回ユニット会議を行い、社長管理者が出席し意見や要望を聞き、意見交換ができるようになっています。必要な場合には個人面談の機会を設けています。	月1回のユニット会議で、職員から意見や購入希望の物が挙がる。欲しい物であってもグループ内で調達する工夫をしたり、利用者になるべく動くよう働きかけるレクの提案がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各種研修への参加・資格所得も法人が受講料負担するなど、スキルアップを後押し、労働時間も厳守されおり、努力や実績に応じて学術員会など役職関係なく専門委員に任命するなど向上心、モチベーションを貰える環境ができています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全員を対象にした介護技術、接遇、認知症についての研修を実施しています。」		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の他事業所との交流はもちろん、協議会を通じ活動している事例発表会等で交流を図っています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	使い慣れた物を事前に居室に持ち込み家庭の雰囲気を作り上げるなど、本人と相談し不安を取り除くように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時に最近様子や管理者と連絡先を交換して写真や出来事などを伝えています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人やご家族の思いを優先し支援させて頂いています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除や洗濯、おやつ作り等、出来る方へアプローチを行い共同作業しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日常生活や身体状況を密に方向し、ご家族の力を借りて支えあっています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や面会の方にいつでも会いに来ていただける環境を用意し、ご本人と談笑したりお茶等を飲んで頂いたりしています。	家族の面会があり、一緒に外出したり、食事に行っている。趣味の習字を続けたり、洗濯畳み、食器拭き、食事、おやつレク等のイベントにも関わる等、馴染みの家事を続けている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の性格を共有、尊重し日々の生活で楽しみや助け合える雰囲気を作り、気の合う方同士でストレスなく過ごして頂けるように配慮しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて連絡を取り状況を聞かせて頂いています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活歴やアセスメントだけでなく、日々の会話から希望等を聞き、可能な限り実現できるように努めている。場合によってはご家族様にもご協力いただいている。	利用者や家族に、どう生きてきたか、何が好きか、生きがい等について確認することで、本人の思いや意向の把握に努め、介護計画に反映させている。	利用者9名のそれぞれの「喜び」をみつけ、介護計画に反映させ、個別支援につなげてはいかか。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族から生活歴などの情報を伺い、ホームで出来るサービスの提供に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメントや情報提供を基に、個々の有する力を把握する事に努めています。個々に対するカンファレンスを月に一度必ず行い、配慮が必要な事案についてその都度、考察を行います。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月、個々のカンファレンスで意見を出し合い検討・モニタリングし、現状に合ったケアの提供が出来るようにしてより良いケアを目指し作成しています。	3か月ごとにモニタリングをし、ユニット会議で利用者の状態について話し合ったことを介護計画に反映させている。明らかに介助方法が変わる時に計画を見直し、変更後家族に報告している。	モニタリングは毎月行い、認知症状のわずかな変化も見逃さず、予防的な意味でも、介護計画は季節の変わり目ごとに見直すことを目標にはいかか。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様の様子や気づきをカードックスや申し送りノートで管理し、情報を共有しながら介護計画の見直しにも活用しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族の状況や要望に応じて相談があれば対応できます。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防署の協力を得て避難訓練を行っています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診時、家族様が医師に適切な医療を受けられるように日々の体調の変化を記録し情報提供しています。必要に応じて整形外科などの受診も支援しています。	入居時にかかりつけ医の選択を説明しているが、差し支えなければ協力医に変えてもらい、月2回の往診を受けている。専門医へは家族か職員が付添い、定期的に訪問歯科の往診がある。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	状態の変化に気付いた際は、施設の看護師に伝達が来ています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関や掛かりつけの病院関係者との情報交換や相談に努め、安心できる環境を備えています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	出来る限りご希望に添えるように家族様と相談しながら、事業所で出来る事、出来ない事を説明し変化に備えています。法人も看取りについて社員研修をする計画を立てています。	入居時に看取りの説明をしている。希望があり、医療的処置を必要としない状態にあれば実施する。現在1名の利用者が「ここで最期まで」と希望しており、段階的に確認しながら進めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急マニュアルを全職員が把握しています。救急車要請マニュアルも把握し、すみやかに対応できるようにしています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に地域の方にも呼びかけ避難訓練や消火訓練を実施しています。	地域特有の災害はなく、地震、火災を想定した法定の総合避難訓練を利用者も参加し、小規模施設と合同で実施している。台風時の職員のルート研修をしている。法人が備蓄の管理をしている。	職員は出勤状況により避難訓練に参加できないこともあるので、自主訓練の回数を増やし、万が一の時に備える取り組みをしてはいかがか。

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個別の情報を元に把握し、人格を尊重した言葉かけをしています。	接遇については「行動指針」があり、呼称は苗字にさん付けを基本とし、利用者を尊重した声かけをしている。異性介助の際は「よろしいですか」と声かけをし、利用者同士の相性にも配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の希望を出来るだけ受け入れ、レクリエーション、ドライブ等への参加もご本人の意思を確認したうえで行っています。何かお手伝いをお願いする際には必ずご本人様の意向を伺います。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の様子を確認し、手伝い、散歩、ドライブ等1人1人に合った対応をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	トイレ介助や入浴時等、身だしなみを整えるように支援しています。起床の際、着る洋服を一緒に選んで頂きます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	共通の献立だが、食事レクやおやつ作りを通し手作りの楽しさや食べる楽しさを支援している。希望者には外食にも行っています。また、配膳や片付けなど一緒に出来る方にはして頂いています。□ □	毎日3食とおやつその他、お節やひな祭り等、行事食や伝統食が届き、提供している。職員が検食し、食事に関するアンケート調査も実施している。特定技能実習生がお国の食事を作ることもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご本人様の状態や希望に応じて、食事量や形態を変えています。食事摂取量を記録し、情報提供をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、歯磨きを行い必要に応じて介助し口腔ケアを行っています。毎週歯科往診が指導を受け専門的な口腔ケアも受けています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定時誘導や個々の排泄パターンで清潔を保持し自立に向け努力しています。	職員はトイレで排泄をしてほしいという思いで支援に取り組んでいる。全介助の利用者以外の自立者は、日中はトイレに行くが、夜間のみおむつを使用したり、職員が付添うこともある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を使い、日数や排便コントロールに役立てています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	毎日入浴を実施しています。午前、午後と支援出来るようにしています。好みの湯加減も希望に添えるように支援しています。	入浴は毎日、午前中に実施している。利用者ごとに入浴日は決まっており、重度者である利用者の介助にも取り組んでいる。自分用のシャンプーを用意する等、入浴を楽しむ支援に努めている。	前日に入浴しても、「今日はどうしますか」と声かけをし、いつでも入浴できることを情報として提供し、入る、入らないの選択を利用者がする取り組みをしてはいかがか。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は活動を促して、昼夜逆転や体のリズムを崩さない様に支援しています。昼食後、午睡等を希望する方には、休んで頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	症状による内服を理解し身体状況を観察し看護師に相談、医師の指示を仰いでいます。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	残存機能を活かした役割や楽しみが出来るように支援しています。仕事好きな方には、食器拭き、洗濯たたみ等行っていたたいています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望や状態に合わせて、散歩、ドライブ、外食等が出来るように努めています。ご家族に働きかけ、負担とならないよう配慮しながら一緒にでのお出掛けを提案します。	日常的には散歩や買い物に行っている。また、家族と外出している。外出のお楽しみとして初詣やお花見等に出かけており、桜が咲いたらお花見に行くことを検討している。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にはお金の所持はされていません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要時や希望がある際には、電話の利用を支援しています。筆記具をいつでもお渡しできる用意があります。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るく清潔感のある空間づくりに心掛け、写真や利用者様が作った作品等を張り出しています。	共用空間には外出時や行事の際の写真や季節感のある作品を掲示している。女性9名の利用者の相性や居心地の良さを考慮したテーブル、椅子を配置し、家庭的な雰囲気や清潔感がある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを置き、自由にくつろげる空間作りをしています。また、席の移動は自由でその時のご気分好きな場所にお座り頂いております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた衣類や、馴染み深い小物類などを自由にお持ちいただき、お一人お一人が少しでもご自分の空間を意識していただけるように配慮しています。	ベッド、筆筒の他、テレビ、寝具、衣装ケース等を持込んでいる。掃除も行届き、清潔に整えられており、殆どの時間を居室で過ごしたり、マッサージの訪問もある、自由な生活空間となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、浴室、フロア内の手すりを充実させ、歩行に不安がある方にも安心して歩行ができるように工夫しています。		